放射線物理学 No.6 核反応,中性子と物質の相互作用

第50回(2005年)

間10次の記述のうち、正しいものの組合	せはどれか	0
---------------------	-------	---

- A 核反応の起こる断面積は、原子衝突の起こる断面積のほぼ108分の1である。
- B 自発核分裂で生じる核分裂片のエネルギー分布は、連続スペクトルである。
- C 核子当たりの結合エネルギーは、16Oより 56Fe の方が小さい。
- D 中性子は核外では壊変しないが、核内では壊変することがある。

1	A L D	2 1 + C	3 B & C	4 BYD	5 0 7 1
U	ACD	ZACC	JUCC	7 10 4 10	3 0 0 1

問20 次の核反応のうち、熱中性子の検出に適したものの組合せはどれか。

- $A \quad ^{197}Au(n,\gamma) \\ ^{198}Au \quad B \quad ^{3}He(n,p) \\ ^{3}H \quad C \quad ^{32}S(n,p) \\ ^{32}P \quad D \quad ^{64}Zn(n,2n) \\ ^{63}Zn$
- E 10 B (n, α) 7 Li
- 1 ABCのみ ABEのみ 3 ADEのみ 4 BCDのみ 5 CDEのみ

問22 中性子と原子核との相互作用として起こりうるものの組合せは、次のうちどれか。

- A 核分裂 B 非弾性散乱 C 弾性散乱 D 捕獲
 - (5) ABCD すべて 1 ABCのみ 2 ABDのみ 3 ACDのみ 4 BCDのみ

問 21 中性子が水素原子核(1 H)に衝突して失うエネルギーの最大値($\Delta E_{
m H}$)とへリウム原子核(4 He)に衝 突して失うエネルギーの最大値($\Delta E_{
m He}$)との比($\Delta E_{
m H}/\Delta E_{
m He}$)として最も近い値は,次のうちどれか。

1 0.6 2 1.6 3 2.0 4 2.4 5 4.0